



福県医発第424号(地)

平成29年 5月 8日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

医療事故の再発防止に向けた提言第1号の公表について

標記の件につきまして、厚生労働省医政局総務課より日本医師会を通じて別添のとおり通知がありましたのでお知らせいたします。

平成27年10月から開始された医療事故調査制度では、医療事故が発生した医療機関において院内調査を行い、医療事故調査・支援センターではそれらの調査報告を収集し、整理・分析することで医療事故の再発防止につなげ、医療の安全を確保することが目的とされています。

今般、医療事故調査・支援センターより、医療事故の再発防止に向けた提言第1号として、中心静脈穿刺合併症に係る死亡の分析第1報(以下、提言書という。)が、併せて医療事故調査・支援センター事業報告年報(以下、年報という。)がそれぞれ公表されました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただくとともに、提言書と同様の事例の再発防止及び発生の未然防止のために貴会会員へ周知方よろしくお願いいたします。

なお、提言書及び年報は、医療事故調査・支援センターのホームページからもダウンロード可能です。

記

医療事故調査・支援センター 提言書・年報

<https://www.medsafe.or.jp/modules/advocacy/>

小郡三井医師会より

医事調停担当理事 淡河喜雄
会長 白石恒明

日医発第 86 号（法安 13）

平成 29 年 4 月 17 日

都道府県医師会長 殿

日 本 医 師 会
会長 横倉 義武

医療事故の再発防止に向けた提言第 1 号の公表について

平成 27 年 10 月から開始された医療事故調査制度では、医療事故が発生した医療機関において院内調査を行い、医療事故調査・支援センターではそれらの調査報告を収集し、整理・分析することで医療事故の再発防止につなげ、医療の安全を確保することが目的とされています。

今般、医療事故調査・支援センターより、医療事故の再発防止に向けた提言第 1 号として、中心静脈穿刺合併症に係る死亡の分析第 1 報（以下、提言書という。）が、併せて医療事故調査・支援センター事業報告年報（以下、年報という。）がそれぞれ公表された旨、厚生労働省医政局総務課長より本会宛連絡がありました。これらの冊子は、すでに医療事故調査・支援センターから各都道府県医師会あてに 20 部ずつ送付済みであり、さらに本会各会員に対しても直接送付される予定です。

つきましては、提言書と同様の事例の再発防止及び発生の未然防止のために、貴会管下会員へのご周知方よろしくお願い申し上げます。なお、提言及び年報は、医療事故調査・支援センターのホームページからもダウンロードしご覧いただくことができますので、ご活用いただきますようお願い申し上げます。

記

・医療事故調査・支援センター 提言書・年報の URL
<https://www.medsafe.or.jp/modules/advocacy/>

以上



医政総発 0405 第 2 号
平成 29 年 4 月 5 日

公益社団法人日本医師会長 殿

厚生労働省医政局総務課長
(公 印 省 略)

医療事故の再発防止に向けた提言第 1 号の公表について

医療行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。医療事故調査制度につきましては、平成 27 年 10 月から、医療事故が発生した医療機関において院内調査を行い、医療事故調査・支援センターにおいて、その調査報告を収集し、整理・分析することで医療事故の再発防止につなげ、医療の安全を確保することを目的として実施されております。

また、医療事故調査・支援センターは再発の防止に関する普及啓発を行うこととされており、今般、医療事故の再発防止に向けた提言第 1 号として、中心静脈穿刺合併症に係る死亡の分析第 1 報（以下「提言書」という。）が公表されましたのでお知らせします。

貴職におかれましては、同様の事例の再発防止及び発生未然防止のため、本年報と提言書の内容を御確認の上、貴会会員に対する周知をお願いいたします。

なお、同日に医療事故調査・支援センター事業報告年報（以下「年報」という。）も公表されましたことも併せて周知をお願いいたします。

提言書及び年報につきましては、別途医療事故調査・支援センターのホームページ <https://www.medsafe.or.jp/modules/advocacy/> にも掲載されていますことを申し添えます。